



株式会社兵庫分析センター様の 『サステナビリティ経営方針』策定を支援しました

百十四銀行（頭取 森 匡史）が実施する「114サステナビリティ経営導入支援サービス」を通じて、姫路支店取引先 株式会社兵庫分析センター（兵庫県姫路市広畑区 代表取締役 石井 哲人）が『サステナビリティ経営方針』を策定されましたのでお知らせします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまのサステナビリティ経営の実践を支援してまいります。

記

○企業概要

会 社 名	株式会社兵庫分析センター
所 在 地	兵庫県姫路市広畑区正門通 4 丁目 10 番地の 8
代 表 者	石井 哲人
業 種	環境計量証明業

※株式会社兵庫分析センターの「サステナビリティ経営方針」については、別紙をご参照ください。

《経営方針書の策定にあたって》

私たちは次なる 100 年企業を見据え、環境・社会・経済が調和するサステナビリティ経営を重視します。

お客さまや社会の課題解決を自らの成長と捉え、確かなデータと技術で未来の世代へ豊かな自然と確かな信頼をつなぎ、皆さまと共に持続可能な未来を築いてまいります。

代表取締役 石井 哲人

以上

株式会社 兵庫分析センターのサステナビリティ経営方針

経営理念

ミッション

正確かつ迅速な分析を通じて企業と社会の発展、快適な職場および生活環境の維持に貢献する。

バリュー

垣根を越えて学び、つながり、必要とされる新たな技術・価値の創造に挑む。

ビジョン

安全・安心へとつながる環境課題の解決に貢献し、信頼され、選ばれ続ける企業へ。

プリンシプル

- ・失敗にめげず可能性に向かって挑戦する
- ・問題意識を常にもつ
- ・積極的に学び実践する
- ・協調を忘れない
- ・健康づくりに努める

経営者メッセージ

弊社は創業から50年を経過しました。これまでの歩みを支えていただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

私たちは次なる100年企業を見据え、環境・社会・経済が調和するサステナビリティ経営を重視します。お客さまや社会の課題解決を自らの成長と捉え、確かなデータと技術で未来の世代へ豊かな自然と確かな信頼をつなぎ、皆さまと共に持続可能な未来を築いてまいります。

外部環境

マクロ環境

- ・脱炭素・資源循環・環境負荷低減への要求
- ・環境・労働安全衛生に関する規制・測定義務の変化
- ・人口減少、専門人材の不足・高齢化
- ・AI・データ活用、測定技術の高度化
- ・豪雨・猛暑等の気候リスクの上昇
- ・環境・安全・品質などのデータに基づく検証への要求

ミクロ環境

- ・「測定」→「課題解決・提案」へ
- ・価格以外の差別化の検討
- ・技術承継、若手人材育成、優秀な人材の確保
- ・外部連携も視野に入れた技術・サービスの高度化
- ・データの共有・蓄積・活用
- ・地域課題への貢献・信頼の維持

事業活動

マテリアリティ

- ①誇りと豊かさを実感できる企業の成長
- ②持続的な企業成長に向けた収益力の強化
- ③技術を未来につなぐ人材の育成と専門性の向上
- ④「お客さまの期待値+αの価値」を提案できる企業へ
- ⑤お客さま・地域から信頼され、選ばれ続ける企業へ

取組方針

- ①誇りとやりがいを持って働ける職場づくり
- ②利益が生み出し続けられる体制の構築
- ③技術・技能の蓄積と共有を通じて、企業の持続力を高める
- ④専門性・柔軟性を持つ人材を育成し、技術・サービスの向上とデータの更なる活用を追求する
- ⑤データおよび情報の共有・高度化・活用による組織力の向上

経営資本

《財務資本》
経営を支える
純資産の確保

《物的資本》
多様な分析機器を保有

《人的資本》
経験豊富な社員および有資格者を確保

《知的資本》
長年の実績に基づく分析技術やノウハウの蓄積

《関係資本》
年間取引先数は、約1,500社

《社会資本》
交通基盤が整った商工業都市に社屋を構える

《自然資本》
自然環境に関するデータ・知見の蓄積

持続可能な社会の実現へ

目標値

2030年①

社員の声を職場改善につなげ、社員エンゲージメント肯定回答率80%以上をめざす

2028年②

AI・DX化により、5つ以上の業務分野で生産性30%向上をめざす

2027年③

全社員のスキルマップを完成し、技術・技能に見える化する

2029年③

スキルマップを活用して業務の属人化を防ぐとともに、資格取得を促進する

2028年④

顧客・企業紹介にビジネスマッチング10社/年以上

2028年④⑤

環境・法令・補助制度・脱炭素等をまとめ、情報を必要顧客に向け毎月配信

社会価値・経済価値創出

